

令和7年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

| | | | | | | | |
|-----------------|---------------------|--------------|-------------|------|------|-------|-------|
| 事業名 (個別メニュー) | 小学生の大河津分水見学会 | 事業経緯 | 継続 | 実施体制 | 協賛 | 担当所属 | 企画調査室 |
| 事業名 (大項目) | 地域の利用・整備・保全に関する広報事業 | 分類名 (中項目) | 広報・啓発活動支援事業 | | 事業区分 | 体験活動等 | |

1. 事業目的

現在、小学校では、さまざまな体験を通して勤労観・職業観を育むとともに、身近な仕事への関心を高め、それらと地域社会とのつながり等を考えさせる「キャリア教育」を推進している。

建設業においても、ものづくり産業を支える「人づくり」に取り組んでいることから、その教育を支援し、小学生等に社会資本整備の重要性とその使命、価値に対する理解を深めてもらうことを目的に実施する。

2. 事業実施体制

主催：(一社)新潟県建設業協会

協賛：(一社)北陸地域づくり協会

後援：国土交通省信濃川河川事務所、新潟県、新潟市教育委員会

3. 事業実施概要

◆対象校・日時・講師等

・新潟市立岩室小学校

日時：令和7年11月18日(火) 8:40～12:00

学年・人数：4年生 14名、教師 2名

・新潟市立根岸小学校

日時：令和7年11月26日(水) 8:30～12:20

学年・人数：4年生 22名、教師 2名

・新潟市立大鷲小学校

日時：令和7年11月27日(木) 8:30～12:15

学年・人数：4年生 15名、教師 2名

・案内：信濃川河川事務所職員、大河津資料館スタッフ

【参考】

上記を含め、新潟市立小学校を対象に9～11月に見学会を実施
参加校 23校、参加児童・教師計 939名

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

信濃川大河津資料館には大河津分水路ができる以前から今日までの歴史に関わる展示がされており、洪水に苦しんでいたころの生活の知恵や水害への備え、堰など各種施設の役割について理解を深めた。

見学を通じて大河津分水の重要性を実感するとともに、いま私たちの安全な暮らしが昔の人たちの思いや苦勞のもとに成り立っていること、地域の安全・安心がそれを守るために働いている人たちのおかげであることへの気づきを促した。本事業を通じて建設業への興味・関心が高まり、将来の職業選択につながることを期待したい。



信濃川大河津資料館(1F展示室)



可動堰を望む



堰等操作室



魚道観察室